

最高級ファブリックコレクション Sumiko Honda 新作発売

「光をあつめて 影ひかる」



株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：光岡 朗）は、最高級ファブリックコレクション Sumiko Honda より新作「光をあつめて 影ひかる」を発売します。

Sumiko Honda は、当社のトップデザイナーである本田純子が“日本の四季を愛でる”を基本コンセプトに、デザイン・織設計・プロデュースを手掛けるオリジナルブランドです。四季の移ろいや光と陰、水や空気の流れなど自然の情景を表現し、豊かで繊細な色彩と風合いを生むファブリックとして長く評価されています。

今般、2023 年の新作として、紫陽花と白欒をモチーフとしたファブリックを中心に、5 柄 20 アイテムをお届けします。

紫陽花をモチーフにした「ピアナメンテ」は、雨の中でも美しく咲き、青や紫、ピンクなど花色を変化させる紫陽花を表現しています。2 色に染め分けた糸をはじめ多数のヨコ糸を用い、色鮮やかで立体感のあるファブリックに仕上げました。紫陽花の根元に生えていた植物もあしらひ、全体の輪郭をぼかすことで雨の日の鈍い光の中でぼんやりと咲いている情景を

表現しました。背景に同系色を用い、華やかでボリューム感がありながらも、自然と部屋に馴染みやすいようにしました。

また「フィグラレ」は、古くから家を守る木として植えられてきた白欒の枝葉と紫陽花の葉が揺れる影をシルエットで表現したアイテムです。光沢のある糸を用いることで、光を受けて輝く葉とその影を演出しました。室内に柔らかな影を落とし、落ち着きのある雰囲気を作り出します。

Sumiko Honda は、今年 25 周年を迎えました。日々の生活に自然の鮮やかな彩りを添える、暮らしに寄り添うファブリックをお届けし続けていきます。

「光をあつめて 影ひかる」概要

新アイテム数：5 柄 20 アイテム

価 格：ドレープ 9,560～20,870 円/m²

薄地 4,000 円/m²（全て税別）

素材・機能：ポリエステル 100% 防炎、ウォッシュブル

発 売 日：2023 年 7 月 3 日（月）

<参考資料>

■ 主なシリーズの概要

SH2809～2813 ピアナメンテ (Pianamente / イタリア語 ゆっくりと)

丸くコロンとした花が、かたまりとなって咲く花色や立ち姿を、大胆なデザインで表現。2色に染め分けできる糸をはじめ、細いヨコ糸をたくさん用いて色彩豊かに織り上げています。地合いは、植物のシルエットをモダンにあしらいました。

カラー：ピンク、アイボリー、バイオレット、ブルー、オレンジ

価格：20,870 円/㎡ (税別)



SH2814～2818 フィグラレ (Figurare / イタリア語 存在する)

白樫の木の枝葉の揺れる影と、紫陽花の葉の影で構成したモダンなシルエット柄。枝葉の影は光沢のある糸と織組織で、地合いは柔らかい手触りのモール糸を用い、しっとりとした風合いに仕上げました。

カラー：アイボリー、ライトグレー、イエロー、ライトブルー、ライトグリーン

価格：17,150 円/㎡ (税別)

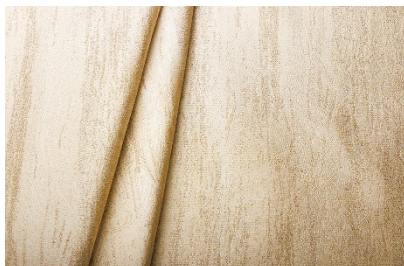


SH2819～2826 カメーナ (Camena / イタリア語 水、泉の女神)

水の流れ、そよぐ風など形の無い瞬間をデザイン。光沢を抑えたさらっとしたドライな質感はナチュラルな風合いです。複数の意匠糸を組み合わせ、程よく柄を感じさせる仕上がりの温かみのある無地調アイテム。

カラー：アイボリー、ライトベージュ、ベージュ、ブラウン、グリーン、ライトブルー、イエロー、オレンジ

価格：9,560 円/㎡ (税別)

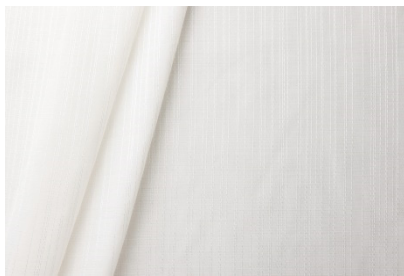


SH2827 アイリーノⅠ (Aierino I / イタリア語 風の精)

空気や風の流れといった、自然の中で感じる形のない瞬間をデザイン。揺らぎや雫のような雰囲気、織組織や不規則なストライプで表現。

カラー：クリーム

価格：4,000 円/㎡ (税別)

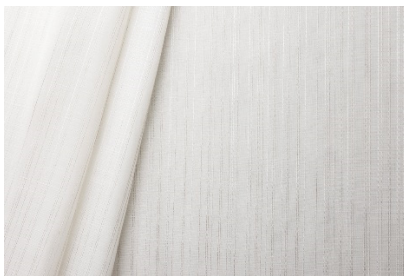


SH2828 アイリーノⅡ (Aierino II / イタリア語 風の精)

空気や風の流れといった、自然の中で感じる形のない瞬間をデザイン。揺らぎや雫のような雰囲気を、織組織や不規則なストライプで表現。タテ糸とヨコ糸にナチュラルな色を差すことでさらに、馴染みのよい質感に仕上げました。

カラー：ベージュ

価格：4,000 円/㎡ (税別)

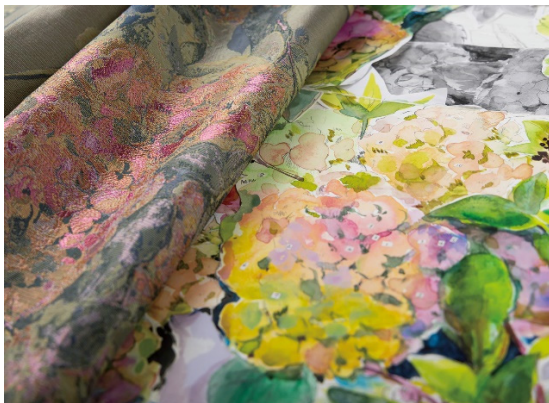


※ 素材/機能はすべて、ポリエステル 100%/防災・ウオッシュابل

■「光をあつめて 影ひかる」発売に寄せて デザイナーメッセージ

この数年で大きく変化してきた私たちの生活。日々の暮らしや働き方、社会情勢などの移り変わりを実感している方もいらっしゃるかもしれません。世の中が変わりつつある今、光射す明るい未来や暮らしに寄り添う温かさを届けたいとの想いから、新作は長雨に耐え花色を変えながら美しく咲く紫陽花や、家を守る木とも呼ばれる白樫をモチーフとしたファブリックを製作しました。小さな花が身を寄せ合うように咲く紫陽花の姿から人が寄り添うイメージを連想し、今の時代にこそ、そのような温かさを届けたいと思いました。

これから始まる新しいライフスタイルに、自然の鮮やかな彩りを添えることで、いつまでも暮らしに寄り添い温めてくれるファブリックをお届けします。



■Sumiko Honda デザイナー 本田純子 プロフィール

- 1986年 株式会社川島織物（現：株式会社川島織物セルコン）入社
- 1990年 国際見本市ハイムテキスタイル展（独フランクフルト）に出展の「イルマーレ」の開発に従事
- 1994年 「イルマーレ」がスミソニアン博物館（米）のコレクションとなる
- 1998年 Sumiko Honda ブランド発表
- 2006年 メゾン・エ・オブジェ・エディトゥールに日本企業で初出展
- 2009年 グッドデザイン賞受賞
- 2023年 新シリーズ「光をあつめて 影ひかる」発売

